

校内研究だより①

令和7年度
発行日
5/19(月)

今年度もホームページを担当いたします野村伸と申します。今年度より本校の先生方がどのような研修をしているのか、少しでも保護者の皆様と共有できたらと思い通信を発行いたします。発行日は不定期ですが、できるだけ共有できるように頑張ります。よろしくお願い致します。

校内研修名「ひらmake（メイク）」

閃（ひらめ）くとmakeを掛け合わせた造語である。makeには(創造して)作る、造る、作る、製作する、組み立てる、建設する、創作する、著わすの意味があります。閃いたことを教員みんなできりあげようという意味です。

その「ひらmake」とは、教員の指導力向上のために位置づけられている時間のことを指します。年間を通して、学級経営や生徒指導、各教科等の教材分析や質的向上を図ります。また、課題や悩みごとなどを共有し解決策を練る機会でもあります。

ひらmake：インクルーシブ教育 「大嶺 喬 指導主事」

4月3日に那覇教育事務所 指導主事 大嶺 喬 様に来校いただき特別支援教育とインクルーシブ教育についてお話しいただきました。この研修では、子どもたちの「学び方」や「感じ方」の多様さを改めて見つめ直す時間となりました。

【スマホのアプリでお子さんの得意が分かる】

自分の得意な学習スタイルを知っていますか？

スマホで簡単！

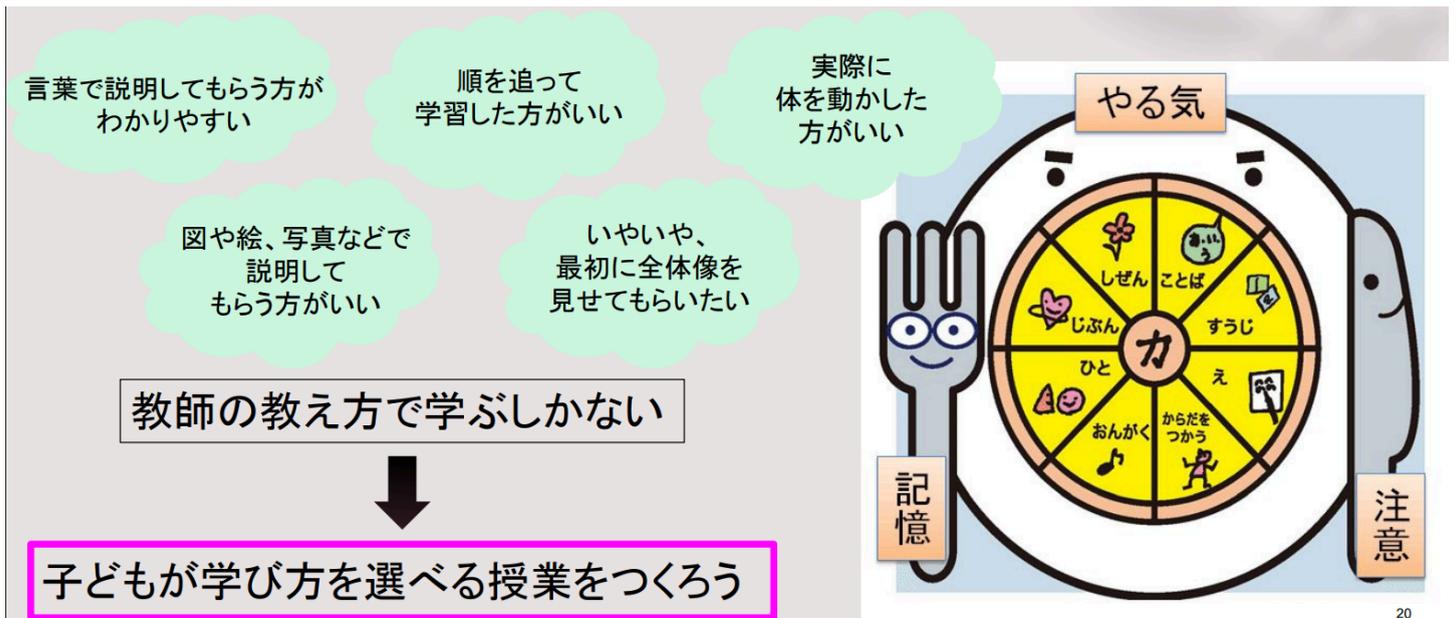
15の質問に答えるだけで、あなたの優位感覚を知ることができます。



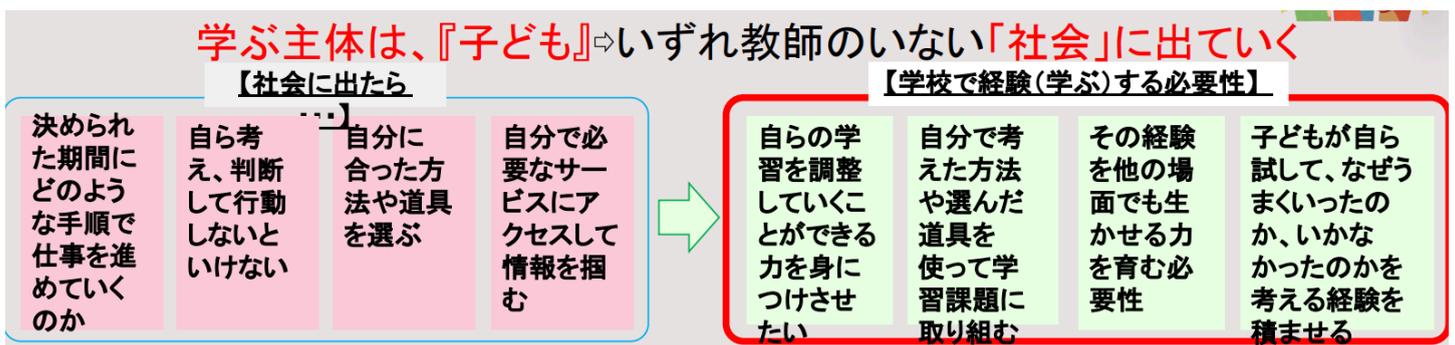
- ・視覚タイプ→視覚が得意
- ・聴覚タイプ→聴覚が得意
- ・体得タイプ→体験が得意
- ・オールマイティータイプ

ちなみに私は「オールマイティータイプ」でした。

【得意によって学び方は人それぞれ】



【将来を見据えてどうアプローチするか】



最後に、私たち大人は子どもが社会人になるためのスキルを身に付けるには、どのようなアプローチをするとよいか考えることも大切なのかもしれません。大嶺指導主事のお言葉から考えさせられる貴重な機会となりました。学校と家庭が同じ方向を向いて、子どもたちの「伸びようとする力」を支えていけたらと思います。